

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 **新**国際園芸アカデミー教育環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2865)

E-mail: c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,636 千円 (前年度予算額：一千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,636	0	0	0	0	0	0	0	6,636
決定額	3,882	1,941	0	0	0	0	0	0	1,941

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 令和2年度に国際園芸アカデミー有識者会議から、アカデミー自身による教育改革の他、施設等の教育環境の充実について提言を受けた。
- アカデミーと同じ可児市内にあるぎふワールド・ローズガーデン (旧：花フェスタ記念公園) は、多様な植生と、年間約40万人の来園者を有する、実践教育には絶好の環境を備えているが、座学が行える施設等がなく十分に活用できていない。

(2) 事業内容

国際園芸アカデミーの教育環境の充実に向けて、ぎふワールド・ローズガーデンにおいて、以下の施設整備を行うための基本設計・実施設計を行う。

- ①来客とのコミュニケーション能力の向上や、仕入れから販売まで一貫した授業のための直売展示スペース
- ②座学に必要な設備を備えた研修室や、実習後に着替えて現地集合・解散を可能とするための更衣室・シャワー室等

(3) 県負担・補助率の考え方

県立学校に関わる事項であり、県が負担することが妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,636	基本設計・実施設計委託業務
合計	6,636	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、地方創生推進交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ①ぎふ農業・農村基本計画（令和3～7年度）
- ②清流の国ぎふ花き振興計画（令和3～7年度）
- ③農林系アカデミー・農業大学校運営向上プラン（平成31～令和5年度）
- ④新・岐阜県都市公園活性化基本戦略（令和3～7年度）

(2) 国・他県の状況

県立の園芸系学校では兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県）があり、学生が整備したキャンパス内の庭園を一般の来訪者に公開するなどの実践教育を行っている。

(3) 後年度の財政負担

維持管理に必要な経費は、後年度も財政負担する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が運営する学校であることから、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・国際園芸アカデミーの教育内容の充実と併せて、教育環境の整備を進めて、学校の魅力を向上させることにより優れた学生を集める。
- ・さらに、実践的教育の拡充により、花と緑の業界ニーズを満たす経営感覚に優れた人材の育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
国際園芸アカデミー受験者数	23 人	/	/	25 人	30 人	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	<div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; padding: 5px;"> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % </div>
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; padding: 5px;"> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % </div>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の拡充に伴い、アカデミー教職員の体制強化を図るとともに、カリキュラムの変更や、学生の通学手段の確保が必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の設計に基づき、施設整備を進める。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	